

「水桜会だより」 2014 夏号

水桜会総会 報告

4 月 13 日(日)11 時 30 分~12 時 30 分、学習院大学西 213 教室で、29 名の OBOG の出席をいただいて開催。決算報告、予算案を原案通り承認いただいた。

その際、秋の懇親会を本年は開催しない点に関して、4 年間継続していたし、開催したらどうかとのご意見を頂戴しました。席上で意見交換をさせていただき、8 月 31 日の五部対抗水泳大会時に、プールサイドで懇親会を開催することと、来年度は、水泳部創部 80 周年にあたり、その際のイベントとして、実施したいことを説明し、ご理解をいただいた。

また、会長以下、全理事の留任と、新理事として、澄谷航氏（平成 24 年大学卒業水球）、福岡大祐氏(平成 24 年度大学卒業競泳)の増員も承認されました。

総会終了後、「懇親の集い」を引き続き行い、昔話に盛り上がりました。

8 月 31 日(日) 五部対抗と懇親会を、大学プールで開催

12:00~15:30、男子部女子部の水泳部や、OBOG のご家族も参加できる内容になっております。プールサイドの懇親会でも各世代の交流が期待できます。別紙、案内をご覧ください。万障お繰り合わせの上、ご参加下さい。

大学水球チーム

昨年 FINA の水球の大幅なルール改定がありました。格闘技的な要素の排除およびスムーズなパス回しによるスピーディーで魅力的な競技にしようという FINA 会長の意向によるものです。2013 年 9 月、ヨーロッパでは新ルールにてプロリーグが開幕し、その初戦では、エクスクルージョンファール（退水）が両チーム合わせて 30 回以上も吹かれるという波乱の幕開けとなりました。

日本においては、日本水泳連盟の期間決定により、今年の学生リーグから新ルールにて実施されることとなりました。そして我々の対一橋戦は学生リーグのゲームナンバー1、すなわち、改定後の日本における初めての新ルール下での公式戦でした。

以上の背景から、日本の水球界としても非常に注目が集まる試合であり、多数の関係者が見守る中センターボールの水飛沫が上がったのでした。

戦績は、2 部 5 位となり、目標に近い結果となりました。

8 月 20 日・21 日成城大学プールに於いて第 2 回チャレンジインカレが開催されます。ルール改正後の水球競技をご覧いただきたいと共に、応援をお願い申し上げます。

その他トピックとして、マネージャー7 名が水球競技公認審判員の資格取得に成功しました。また、8 月 23 日（もしくは 24 日）に学習院高等科水泳部を招待し、水球体験会を実施します。

大学競泳チーム

新入生 14 名を迎え、総勢 54 名と大所帯での活動となっています。

4 月から大学プールでの練習が始まり、4 月末には新潟県柏崎市アクアドームでの合宿を行いました。快適な長水路プールでしっかりと泳ぎこみをしてきました。マネージャーの資質向上プロジェクトを開始します。

5 月には夏季公認記録会がありました。町田市の長水路プールということもあり、記録は低迷していました。合宿の疲れも残っていたようです。この大会後、質の高い練習に取り組みます。このころになると 1 年生も実力を上げてきます。

梅雨時はプールの水質劣化との戦いもありました。(笑) 6 月夏季公認。部員全員がそろそろ最初で最後の大会です。この中に水泳大会デビューの 1 年生 3 名がいたことを報告します。今大会において男子 400m フリーリレーでインカレ標準記録を突破。チーム力もついてきました。

関東インカレ出場男子 19 名女子 7 名。インカレ出場 4 名。8 月 2・3・4 日横浜国際プールにて関東インカレ開催。男子 2 部 5 位、女子得点獲得を目標に掲げています。そして最終日の男子 800m フリーリレーまで気の抜けないしかし楽しみなレースです。

OBOG のみなさま、いつもご声援頂き誠にありがとうございます。これからもご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

男子部

6 月 7 日、高等科の附属戦が女子部 戸山プールで行われました。

昨年取り返した混継泳杯を再び奪われ、厳しいムードで始まりましたが、200 米・100 米背泳で 1-2-3 位を独占。200 米・100 米平泳および 200 米混泳を 2-3-4 位で勝利するなど最後まで全員が戦い抜き、総合優勝杯を手にすることが出来ました。

コンマ 1 秒の違いが勝敗を分けるようなレースも多く、苦しんだ末の勝利の喜びはいつにましても大きいように思われました。応援にお越し下さった水桜会の皆様に心より感謝申し上げます。

全競技の総合成績も今年は引き分けで、水泳部は貴重な勝利を貢献することが出来ました。

しかし、締めめの 800 米継泳では附属が 8'26"85 と大会記録を 4 秒以上更新し、リレー杯を 2 つとも渡してしまった結果に、15 名の部員一同奮起してこれからの 1 年を過ごす所存です。

中等科水泳部は、

- ・ 4 月 27 日 成城学園中学との第 6 回定期戦 138 対 155 で対抗戦開始以来 6 連勝
 - ・ 6 月 21 日 早稲田中学との第 17 回定期戦 68 対 60 で 3 連勝
- と一昨年度からの対抗戦全勝を継続中しております。

(裏面に続く)

今後は、8月2日に立教池袋中学との定期戦(於・立教池袋中)、8月6日～9日 静岡県河津にて夏合宿、そして8月29日には中等科の附属戦(於・中等科(変更の可能性あり))を予定しております。

現在、中3:12名、中2:18名、中1:18名、計48名の大所帯です。

OBの皆様には今後とも変わらぬご支援のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

(高等科教諭 森本貴志先生からご寄稿いただきました。お力添え心から感謝いたします。)

女子部

4月19、20日の関東地域春季水泳競技大会に高一の五十川英(Bu)、中二の関口舞花(Ba)が出場しました。五十川は自身が出場する一方で、後輩の関口の精神面もサポート。関口は100mBa決勝で7位入賞を果し、共に成長が見られた良い大会でした。

6月7日、女子部戸山プールにて高等科附属戦が開催されました。高三を中心にモチベーションの高い良いチームへと成長した本年度。昨年の雪辱を果すべく、附属の戦力分析も行い臨みました。

過去、附属戦を引退試合とする三年生に配慮した選手選定も見られましたが、今回は三年生自らが勝ちに拘った選定方法を採用。練習時は、出場できないメンバーが、むしろ積極的に声出しを行い、また、試合時も皆が泳ぎに、応援に気持ちを込めました。

しかし、残念ながら105対94で敗れました。

この経験を夏の大会に活かすべく、高等科は、部長 須藤いい那、副部長 手塚央子、マネージャー 葛巻萌、穴山佳奈子の新体制で、中等科は、新入部員9名を加え活動を展開しております。

最後に、女子中・高等科では、学内設備の耐震状況の調査を実施し、結果、第一体育館、プールを新改築することとなりました。(2014年度に設計、2015年度に工事着工予定(女子部便りより))

歴史を受け継ぎつつ、新たな一步を踏み出す女子中・高等科水泳部へ、今後ともご声援、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

大学プール新設運動

5年間、たびたびご相談させていただいた福井憲彦大学長が退任され、法学部の井上寿一先生が就任されました。2016年度の「国際社会学部」新設や、関連の教育施設の見直しが急務であり、課外活動施設の拡充等は、具体化まで時間がかかっております。引き続き大学幹部と折衝しながら、強い大学水泳部を作り、プール新設運動の強化に努めたいと思います。